

## 新事業創出を相互支援 神大と城南信金が協定



協定書を掲げる城南信金の川本理事長(右)と神奈川大学の兼子学長 —東京都品川区

神奈川大学(横浜市神奈川区)と城南信用金庫(東京都品川区)は2日、新事業創出に関する相互支援や地域の産業・経済の発展に向けた産学連携協定を締結した。大学の知見と信金の情報ネットワークを活用し、地域活性化につなげる。

協定では、地域経済の動向に関する情報交換や共同研究、新技術事業化の相互支援のほか、インターンシップ制度の実施など人材育成や教育に関する項目も盛り込んだ。

同大学の兼子良夫学長は「多様化する地域社会の課題解決に向け、互いの長所を生かし、ともに努力するための貴重な礎」と述べ、同信金の川本恭治理事長は「信金だけでは解決できない問題がある。神奈川大学の力を借りて顧客の要望に添えていきたい」と抱負を語った。

まずは、寄付講座など教育面の取り組みから進める

方針。川本理事長は「大学と信金に加え、県や市、地元メディアなどとオール神奈川で地域の発展に取り組んでいければ」と意欲を示した。(吉田 勝行)